

運転を見直す機会に 交通安全大会を開催

12.6
mon

全国的に多発している高齢ドライバーによる交通事故。それを未然に防止するため、小郡市・警察署・ダイハツ工業株式会社・小郡自動車学校が、高齢者100人を対象に「小郡市高齢者交通安全大会」を開催しました。大会では、自動ブレーキシステム搭載のサポカー試乗や交通安全教室などを実施。

参加者は「アクセルとブレーキを踏み間違えても、車は反応しなかった」「障害物に近づいて自動で止まったのには驚いた、未然の事故防止に貢献したい」と話し、自身の運転を改めて見直しました。



子どもたちに知ってほしい 「小郡はじまりの物語」

「おどりを語りつぐ仲間たち」の皆さんが、江戸時代から始まる小郡のまちの発展を物語にした本「小郡はじまりの物語」を作成しました。

知られざる小郡の始まりのエピソードを子どもたちに伝え、ふるさとへの誇りや愛を育もうと企画。物語は、小学校すぐ側にある屋敷に3人の小学生が迷い込むところから始まります。

本は、12月中に市内の小学6年生児童へ配布。舞台となった地域にある小郡小学校には直接届けられ、児童は「読んで小郡のことをもっと知りたい」と話しました。一般で希望する人には、平田家住宅とイオン小郡情報プラザで配布しています。大人が読んで読みごたえのある本です。ぜひご覧ください。



防災意識向上に貢献 防災士功労賞を受賞

11.9
tue

おどおり防災士会が、地域の防災意識向上に貢献したことを認められ、日本防災士機構から防災士功労賞を受賞しました。

おどおり防災士会は、防災士の資格保有者で構成するボランティア団体です。平成28年の設立以来、地域や学校などを訪れ、防災研修や子どもから大人まで楽しめる防災セミナーなどを行っています。

おどおり防災士会は「今後も地域実態に合わせた活動や住民の防災意識向上を図れる研修などを企画していきたい」と話しました。



ロボットを自分で操作！ プログラミングに挑戦

11.29
mon

東野小学校5年生の児童が、I-PEX株式会社I-PEXキャンパスでロボットを使ったプログラミング授業に挑戦しました。

小学校では、令和2年度からプログラミング教育が必修化されています。児童はタブレット端末でプログラミングを組み、ロボットを動かし一つの課題にチャレンジ。最後にはそれぞれのロボットでかけっこをし、楽しみながらプログラミングの仕組みを学びました。

授業を終えた児童は「普段ゲームをするけど、作る側の大変さがわかった」「最初はなかなか上手くできなかったけど、課題ができたときは嬉しかった」などと話しました。

